



これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。  
愛は、すべてを完成させるきずなです。  
コロサイの信徒への手紙 3章14節

Above all, clothe  
yourselves with  
**LOVE**, which  
binds us all  
together in perfect  
**HARMONY**.  
Colossians 3:14 NLT

Vol.18  
January 2026  
Harmony

# はあもに

愛と祈りのその先へ  
ACWCとリーストコインの交わり

134番目の新たな挑戦  
タイ救世軍の開戦

やっぱりいいな、京都  
京都まちなか「お写んぼ」



To Women, For Women and By Women

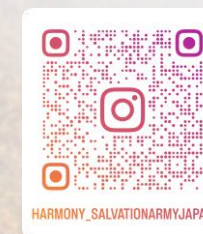


主よ、私たちはしばしば、世界の多くの問題から目を背けてしまいます。  
それらの問題は、あまりにも大きく、複雑で、遠すぎるように思えるのです。  
私たちの無関心を赦してください。  
主よ、私たちは、自分たちの周囲のことだけを見てしまいます。  
私たちの生活、私たちの家庭、私たちの課題だけにとらわれる身勝手を  
赦してください。  
あなたの目で見られるよう、私たちをお助けください。  
お互いを認識し、理解する目です。  
あなたが求められることを私たちの夢とすることができますように。  
互いに手を差し伸べ、対話し、多様な人々が創造的に協力する共同体になる  
よう、私たちをお助けください。  
祈りと出会いによって心を動かされ、平和が実現すると信じて、共に行動で  
きるように、私たちをお助けください。アーメン

(フランシスコ教皇の2016年「世界平和の日」メッセージにインスパイアされた祈り  
～2016年「世界平和の日」の米カトリック司教協議会配布資料よりACWC日本委員会翻訳～)

# CONTENTS

『はあもに』第18号 目次



- 4 **愛と祈りのその先へ**  
ACWCとリーストコインの交わり
- 8 **134番目の新たな挑戦**  
タイ救世軍の開戦
- 10 **やっぱりいいな、京都**  
京都まちなか「お写んぼ」
- 14 **自由はすぐそこに**  
ばいぶるメッセージ  
イーヴィー・ボースリー
- 16 **心を立て直す静かな祈り**  
いのりのじかん  
ウェンディ・モーリス
- 18 **はあもにニュース**  
救世軍 全国大会2025昼食会 リポート  
「きずな献金」2024香港プロジェクト 報告



# 愛と祈りのその先へ

## ACWCとリーストコインの交わり

*Where Love and Prayer  
Lead to Hope*



たとえ離れた国にいても、同じ願いを胸に祈る女性たちがいます。アジア教会女性会議（ACWC）は、そんな女性たちのつながりと草の根の教会女性の働きから生まれた組織です。教派や文化を超えて支え合い、平和と希望を広げています。その輪の中に、私たちも静かに加わることができるのです。



### アジア教会女性会議(ACWC)とは

アジア教会女性会議(ACWC: Asian Church Women's Conference、以下ACWCと表記)は、1958年に発足した、アジア各国のキリスト教会に属する女性たちがつながり、共に学び、祈り、行動するために設立された国際的なネットワークです。

ACWCには、救世軍を含む7つのキリスト教派が参加し、国や文化、教派の違いを超えて、アジアの女性たちが互いに支え合っています。現在ACWCに加盟している国は、インドネシア、バングラデシュ、スリランカ、ニュージーランド、オーストラリア、香港、パキスタン、フィリピン、台湾、日本、韓国、ミャンマー、シンガポール、インド、タイ、マレーシア、カンボジア、ネパール、モンゴルの19か国です。

日本では、1979年から「アジア教会女性会議日本委員会（ACWCJ）」として活動しています。1991年には関西支部が発足しました。現在は、インド及びインドネシアと祈りのパートナーを組んで互いに祈り支え合っています。



4年ごとに開催される大会には、各国から女性たちが集まり、共に祈り、友好を深めています。日本では年に一度、各教会の女性たちが集まり、一日研修会を行います。加盟国が順番に作成する礼拝式文を用いて、共に聖書を学び、社会や教会でイエス様の教えを実践している方からをお話を聞いて過ごします。

### 支援金の受給

2025年度、救世軍の「新生寮」がこの「リーストコインの交わり」からの支援を受けることになりました。それは、地域社会の中で困難を抱える人々に寄り添い、

### ACWCの目標と活動

ACWCは、アジアの女性たちがキリストの愛に基づいて行動することを目指す組織です。平和と正義、そして命を大切にする世界を築くことを目標としています。また、女性が男性と平等なパートナーとして教会と社会に貢献できるよう力を伸ばすことを大切にします。そして、人間と自然が共に生きるため、神様が創造された世界を守る取り組みをしています。

共に歩む私たち救世軍の働きが、世界中の女性たちの温かい祈りで支えられているということでもあります。このような交わりは、私たち一人ひとりの小さな祈りがつながって、山をも動かすほどの大きな力になることを教えてください。お金の多さよりも、心を込めることが豊かさを生むことを。感謝と祈りから始まる「小さな一歩」が、世界の希望をつくっていきます。

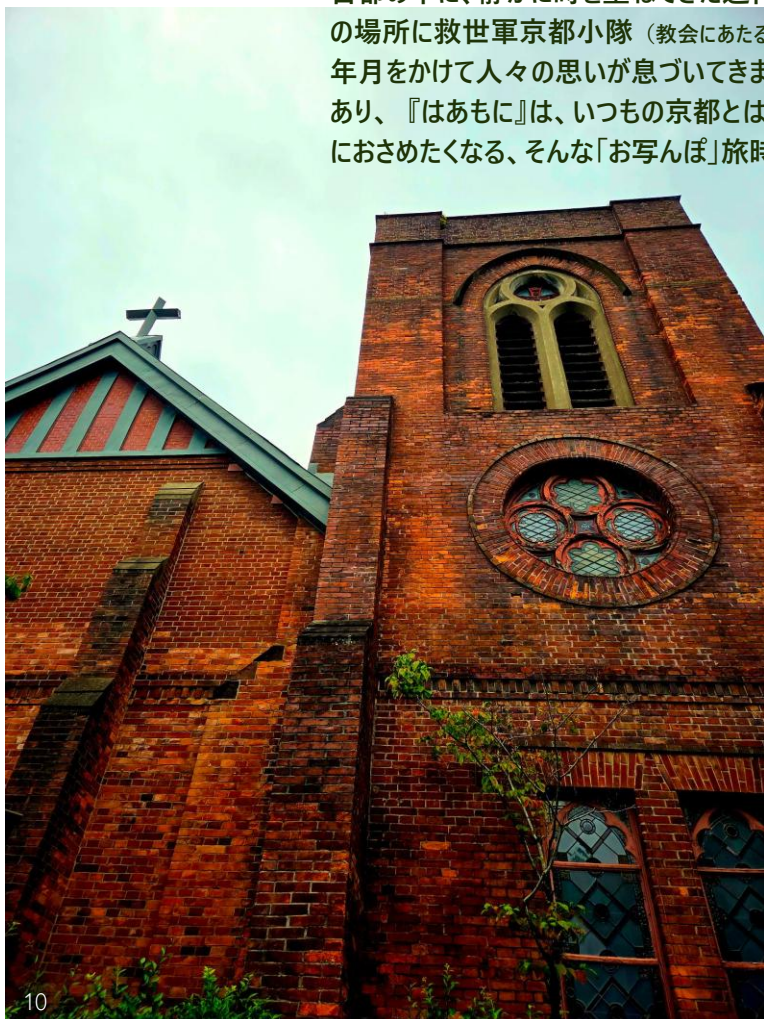




Once Again,  
Kyoto  
Wins My Heart

# やっぱりいいな、京都

京都。世界中の人の心をつかむその小さな街には、たくさんの人生や文化が詰まっています。古都の中に、静かに時を重ねてきた近代建築が点在。その一つに、京都駅から地下鉄で二駅の場所に救世軍京都小隊（教会にあたる）があります。重厚なモダン建築の外観の中に、長い年月をかけて人々の思いが息づいてきました。その周辺には、落ち着いたカフェや静かな小径もあり、『はあもに』は、いつもの京都とは少し違う、歩くほどに新しい京都に出会い思わず写真におさめたくなる、そんな「お写んぼ」旅時間をご提案します。



## CONCEPT

お写んぼ旅のコンセプト

01 モダン建築を楽しむ

02 都会の中の自然を愛でる

03 美味しいコーヒーをいただく

♡ 867

## 京都まちなか「お写んぼ」 半日散歩コースミニガイド



### 01 京都小隊 KYOTO CORPS

京都のまち歩き基地からゆるりと出発。

### 02 錦市場 NISHIKI MARKET

まずは、五感で味わう「京の台所」でワクワクうまいもの探し。

### 03 WEEKENDERS COFFEE

富小路六角のスタイリッシュな和モダンカフェで一杯。

### 04 六角通のモダン建築群 ROKKAKU DORI

街角に潜む「京都の新しい顔」を発見。

### 05 イノダコーヒー本店 INODA

1940年創業、京都の喫茶文化を味わいたい方はこちらで一杯。

### 06 ベルアメール CHOCOLAT BEL AMER

とっておきの一粒で、歩き旅がさらに甘く。

### 07 京都文化博物館 THE MUSEUM OF KYOTO

三条界隈で「知る・味わう・きく」文化体験。

### 08 寺町通ショッピング TERAMACHI DORI

アンティーク・鳩居堂。文の香りと掘り出し物に出合う通り。本能寺を横目に河原町通を横切り、メインストリートへ。

### 09 カトリック河原町教会

CATHOLIC KAWARAMACHI CHURCH

心落ち着く聖堂と、船はし屋のほっこり駄菓子子のセット立ち寄り。

### 10 鴨川 KAMOGAWA RV.

三条大橋付近でピクニック＆バードウォッチでリフレッシュ。

### 11 先斗町 PONTO CHO

先斗町歌舞練場（モダン建築）風情ある路地で、京都らしさを満喫。

### 12 四条河原町 SHIJO KAWARA MACHI

京都小隊に戻る。

さあ、アクセス抜群の京都小隊からさっそく出かけよう！



♡ 947

救世軍京都小隊（教会にあたる）  
京都府京都市下京区富小路通四条下ル徳正寺町37  
Tel：075-343-3726  
✉ [jpn.kyoto@jpn.salvationarmy.org](mailto:jpn.kyoto@jpn.salvationarmy.org)  
🚶 最寄り駅  
阪急線「烏丸駅」または地下鉄丸線「四条駅」  
日曜礼拝：11:00-12:00

京都小隊は、明治40年（1907年）に下京区市場堀川で活動を始め、翌年、現在の地である下京区富小路四条下ルに会館が設置されました。昭和11年（1936年）、建築家であり、伝道者のウィリアム・メレル・ヴォーリズに設計を依頼し、現在のモダン・イングリッシュ様式の会館が建てられました。

京都に現存する魅力的なモダン建築を一斉公開するプロジェクト「京都モダン建築祭」が、2025年11月に開催されました。多くの人が京都小隊を訪れ、異国を思わせる石造り風の外観と美しい礼拝堂に魅了されました。



### 喜びと祈りで世界とつながり、 交流を深める

救世軍 全国大会2025昼食会 リポート

2025年11月、救世軍全国大会が行われ、23日の午前中は聖別会（礼拝）、午後は昼食会がそれぞれ開かれました。この昼食会で、日本軍国女性部会長ウェンディ・モーリス大佐が次のように挨拶して、全国の各小隊（教会にあたる）から集まった人々と、ゲストである救世軍万国書記官、ウィディアワティ及びユサク・タンバイ中将ご夫妻を歓迎しました。

「私たちは体に良い食べ物だけでなく、心と魂にも美味しい糧をいただいています。こうして私たちが笑顔あふれる交流をすることができ、神様はどんなに喜んでおられるでしょう。さらに楽しいひと時を味わってもらえるように、私たち一同心待ちにしていました。」

続いてタンバリン操練が行われ、全国各地から集まった女性たちのタンバリンの軽快な音が会場を包みました。ウェンディ大佐は全国の救世軍小隊に連なる信徒へ、その献身的な働きと温かい心遣いに対する感謝の言葉を述べました。そして京橋小隊の信徒である志村幸子さんが、万国書記官を歓迎するあいさつを述べ、続くお土産セレモニーでは、ゲストたちへ日本から心のこもった贈り物を手渡し、心温まる瞬間の連続となりました。



ご自身のプライベートについての3択クイズで、正解を答える万国書記官



離れたところで練習を重ね、当日は息の合ったパフォーマンスを見せるタンバリン隊



お土産セレモニーで日本からの贈り物を受け取るユサク・タンバイ中将（左）と、ウィディアワティ・タンバイ中将（右）

全世界の救世軍は5つの地域に分かれており、日本が属している南太平洋及び東アジア地域の万国書記官（リーダー）である、ウィディアワティ・タンバイ中将がこの地域での救世軍の活動についてお話しされました。

「南太平洋及び東アジア地域には9つの軍国と1つのリージョンが含まれています。この中で最も新しい国が2023年に加わったタイです。日本では女性部が中心となって、特別な形で他の軍国や地域を支援する『きずな献金』という募金活動があると聞いています。2026年はタイのために献金されるそうですね。活動を始めたばかりのタイでは多くの支援金を必要としています。日本の皆さんの支援がどれほど大きな意味をもつか計り知れません。」

ヨハネによる福音書15章5節で、イエス様は『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである』とされています。私たちは豊かに実を結ぶ存在として造られているということです。

『豊かに実を結ぶ』とは、神様のそばから離れない、ということです。愛と喜びと平和を分かち合うということ、忍耐と親切の心をもつこと、そして、心から信じることです。結んだ実、私たちの心にイエス様が生きておられる証しです。ですから、実を結ぶための最もシンプルな方法は、イエス様の愛があなたを通して表されることです。あなたの献金や祈りなど、神様があなたに望んでおられる形を通して、イエス様の愛を表すこと。そして、それこそが、日本の救世軍がタイのためにしようとしていることです。そのようにして、日本の救世軍の働きが豊かにされ、イエス様という光が輝きを放ち、それを見た多くの人が恵みを受けるようにと願っています。」

### 香港の子どもたちに 「家庭」を届ける

「きずな献金」2024 香港プロジェクト 報告

救世軍香港及びマカオ軍国の女性部会長を務める、デスリー・マクスウェル大佐より、たくさんの写真と共に感謝のお手紙が届きました。

日本の皆さんへ

「きずな献金」2024を通じて、香港・ピンティン地区のグループホームが大きく生まれ変わりました。トラウマを抱える子どもたちが安心して過ごせるよう、トラウマ・インフォームドデザインに基づいて、家具や部屋のレイアウトを見直し、「温かい家庭」のような空間づくりを進めました。

「部屋がかわいくなって、きれいにしたい！」  
「ステッカーで壁を飾れるのが楽しい！」

そんな声が子どもたちから聞こえています。プライベート空間が整い、安心して音楽を聴いたり、友達と穏やかに過ごしたりできるようになりました。スタッフの作業環境も改善され、より丁寧で効率的なケアが可能になりました。

このプロジェクトはただの改修ではなく、子どもたちが「ここが自分の居場所だ」と感じられるようになるための大きな一歩でした。

ご支援くださった皆さま、本当にありがとうございました。神様のご祝福をお祈りします。

デスリー・マクスウェル

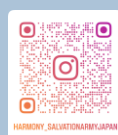


今年、2026年は、タイの貧しい家庭のために献金を呼びかけています。ご献金は救世軍の小隊（教会にあたる）や施設で随時受け付けています。オンライン献金も公式ウェブサイトにて受付中です。下のQRコードからお手続きください。



ONLINE  
DONATION

「きずな献金」は、救世軍女性部が行う海外支援募金です。毎年、資金を必要としている国に、集められた献金を直接送金しています。『はあもに』の売り上げの一部も献金されます。



Instagram



Facebook



Email

## はあもに

次号 2026年5月発行

発行日 2026年1月1日 はあもに第18号  
発行所 救世軍本営 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17  
TEL: 03-3237-0881  
発行者 スティーブン・モーリス  
編集責任者 ウェンディ・モーリス  
編集者 西村和江 石川芳子 平本征子 齋藤恵子  
田中民（グラフィックデザイナー兼）  
創立者 ウィリアム・ブース  
大將 リンドン・バックingham  
聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会  
©本誌掲載の記事・写真・イラスト等の無断転載・使用を禁じます

### 『はあもに』定期購読

1冊/200円（税込・送料別）  
年間3回発行（1月、5月、9月）年間600円（税込・送料別）  
ぜひ定期購読をお近くの救世軍へ申し込みください  
※売上の一部を「きずな献金」として海外支援に用います

お問合せ

救世軍本営 女性部はあもに係  
TEL：03-3237-0881（代） FAX：03-3237-3588  
E-mail：jpn.women.harmony@jpn.salvationarmy.org  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17



救世軍は、キリスト教（プロテスタント）の教会で、伝道活動とともに、様々な問題で苦しみ、助けを求めている人々のために、130以上の国で社会福祉・教育・医療などの支援を行っています。詳しくはホームページをご覧ください。  
<https://www.salvationarmy.or.jp>